

GYCL-201はデジタル式のシグナルコンディショナで、GYcRPプローブと組み合わせて使用します。このコントローラはCC-Link専用のASICを内蔵しており、CC-Linkシステムのリモートデバイス局として使用します。簡単なプログラムで高い精度の位置データを高速に転送することができます。センサに応じて設定変更が可能で、上/下限検出機能も備えています。



仕様

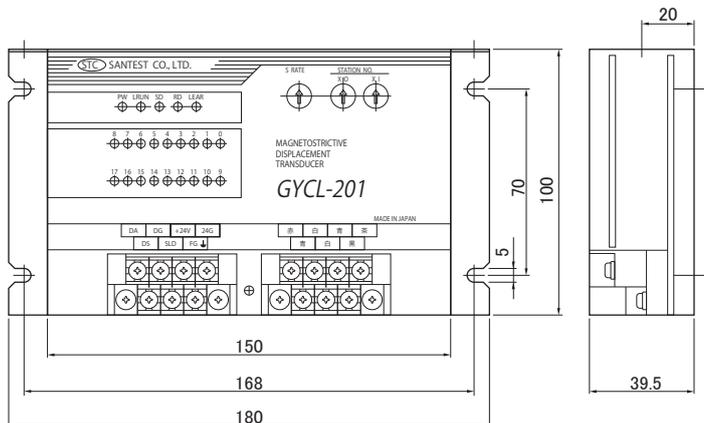
分解能	1mm、0.1mm、0.05mm
有効ストローク	Max.3000mm
走査周波数	標準1kHz(ストローク1000mmまで)
占有局数	3局
通信速度	156k/625k/2.5M/5M/10M
供給電圧	24VDC(18~30VDC)
消費電流	0.2A(24V供給時)
重量	0.6kg
使用温度範囲	0°C~+60°C
保存温度範囲	-20°C~+75°C
耐振性	2G
耐衝撃性	50G

型式

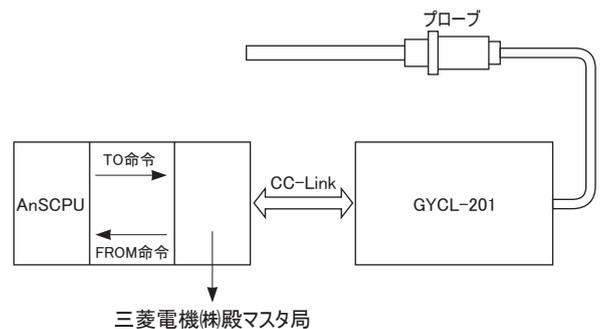
GYCL-201-□□□□-□-□-□
 ① ② ③ ④

- ①有効ストローク
15~3000mm
- ②分解能
D1: 1mm
D2: 0.1mm
D3: 0.05mm
- ③測定方式
1M: 1マグネット方式
2M: 2マグネット方式(2点間距離)
- ④外部パルス
無記入: 無し
X: 有り

外形寸法図



構成



参考 WAGO-I/O-Systemについて

WAGO社(ドイツ)製品WAGO750-635は磁歪式リアセンサプローブGYcRS、GYMR5、GYFRSと接続しセンサ上にセットされたマグネットの位置を高精度に計測するモジュールです。
 WAGO-I/O-SYSTEMの各種バスケーブルと組み合わせることにより、DeviceNet、PROFIBUS、CC-Link、CANopen等の各種フィールドバス上で利用可能です。また1台のバスケーブルに複数のモジュールを組み合わせることや1台のセンサプローブ上で最大4個のマグネット同時計測が出来ます。
 詳細なカタログは弊社までお問合せ下さい。